



上川北部医師会  
たに内科クリニック

谷 光 憲

何を書こうか迷ったが、前回同様楽器のことを書くことにした。約5年前に、ステラプレイスの楽器店に何気なく立ち寄った際に、店員さんから声をかけられたことがきっかけで、20年ほど前に衝動買いしたテナーサクスを久しぶりに、埃をかぶったケースから出してレッスンを受けたことを書いた。

その後レッスンを重ねて、札幌コンサートホールKitaraで、1曲ではあるが身内の前で披露できたことは、自分の音楽人生の中で、一生の思い出になると思う。その後、アルトサクスを購入して、それなりにレッスンを重ねて、念願だったテイク・ファイヴをホテルのバーで仲間内だけで演奏した。CD伴奏に合わせての演奏で、まだ自分の実力では無理な楽曲だったこともあり、散々な出来であった。その後、サクスの練習にも行かなくなり、一時はサクスをやめようかとも考えたが、「折角始めたのに、簡単にやめていいの？」という妻の一言で、違う音楽教室を探し、今も続けている。最初の若い女性講師には、基本中の基本を厳しく教えていただいたことに感謝している。現在の講師は、年が近いこともあり、「音楽は楽しんでなんぼ！」をモットーに楽しく教えてもらっている。

年何回か、地元のホテルで市民対象の講演会を開催しているが、今年から講演会終了後にミニコンサートを行っている。数ヵ月前のミニコンサートに、名寄出身のプロサクソ奏者の深田元春さんとコラボする機会に恵まれた。彼は、日本全国、時に海外でも演奏活動をして非常に忙しい人で、講演会2日前にしか音合わせできなかった。彼には、講演会の2日前にクリニックに来てもらい、発表する2曲を徹底して教えてもらった。初日の練習後、こんなに大変ならミニコンサートをやめようかなと考えたが、「やらない後悔より、やって後悔した方がいいのでは？」と妻に言われたこともあり、思い直して翌日にも音合わせをしてもらい、何とかミニコンサートをやり遂げた。彼の音楽に対する姿勢を見て、その道のプロとは、その時の最善を尽くし、妥協を許さない人をプロと言うんだと痛感した。自分も医療のプロとして、これからも自分に厳しく生きて行こう！と、今回のミニコンサートから学んだ。

講演会終了後、参加してくれた患者さんから「コンサート良かったよ！」と言ってくれ、今度もまたトライしようという気になった。チャレンジする気持ちがある限り、何歳になっても上達することを信じて、診療後にサクスを練習する毎日である。



札幌医科大学医師会  
札幌医科大学医学部薬理学

堀 尾 嘉 幸

臨床の先生なら、定年を迎えても同じように働くことができると思いますが、基礎の者にとっては定年は大転換の時期です。大きな変化だからかえって直前まで考えない、コワイものから逃げ出したい気持ちがあります。でも、逃げてばかりもいけないんでどうしようか？

諸先輩はどうしていらっしゃるか？ 産業医になった先生がいらっしゃいます。看護学校の校長先生や老健施設の責任者になられた方も。また、人間ドックを担当されている方もおられます。老健施設も人間ドックもだいぶ忙しそう。精神科の先生になった方は、早期退職後研修をしてその後専門医の資格も取られた由。実は10年ほど前までは、厚かましくも定年後は臨床の末席に何とか座ってやろうと考えていました。学生相手に行うPBL (problem based learning) の授業や実地技能試験OSCE (Objective Structured Clinical Examination) の評価とか、少しでも臨床に近いものをずっと毎年分担させてもらっていました。が、世の中そんなに甘くない。知識の上でも体力の上でもなかなか難しい。もし直直なんてしたら身が破滅するかも。

毛色の変った職はないかしら？ 珍しいところでは、定年後に和食のかっぱぼう店で修行されている先生がいらっしゃるという新聞記事を目にしたことがありました。この方はどうされているのかしら。

一番憧れを感じる職に就かれた方は、今注目の抗TROP 2抗体による癌治療を開発されたH先生をおいて外にありません。同じ大学に勤めておられました。耳にしたところでは、空知のM市で本格的ワイナリーを何年か前からご家族で開かれ経営されているとか。ホームページを探したところありました。quercus-mikasa。今年の秋に初めてのワインをリリースされるとあります。スゴイ。

さて我が身の振り方をどうしようか。いたずらに振ってても埒が明かない…。重たい腰を上げて、去年の夏に産業医の資格を取ろうと1週間カンヅメになってきました。研修会では留学先も分野も同じという先生にお会いして安心しましたが、知り合いはその方お一人。若い受講者が多いのに驚きました。で、結局、資格は頂くことができましたが、今のところはペーパードライバー、開店休業中。実地訓練をしておかなくては。